土匠々	
于順右	

必要なパッケージー覧は以下を参照してください。

https://exastro-suite.github.io/it-automation-docs/asset/Learn ja/ITA-online-install ja.pdf 3.14 環境構築(9/10)のライブラリ概要くMariadb、Ansible>以外に含まれているもの

※ 設定・備考にあるパージョン(x.x.x)は、インストールするITAパージョンに読み替えてください。 また、(ITAインストール先ディレクトリ名)、(backyardサーバのホスト名)、(AnsibleサーバのIPアドレス)などの文字はインストールする環境に合わせて適宜読み替えてください。

				目	的			
No.	目的	共通 イー	<u>ィーユーTFJ級</u> ホストグループ	Ansible	Cobbler	Terraform Terraform–CLI	CI/CD for laC	。
	ITAインストール資材展開							
1	ITAのインストール資材を展開する	•						インストール資材展開先にITA資材exastro-it-automation-x.x.x.tar.gzを配置してください。 cd /(インストール資材展開先) ls -l exastro-it-automation-x.x.x.tar.gz
2								ITAインストール資材を展開してください。
3								tar 2xi exastro-ic-automation-xxx.tar.gz ITAインストールディレクトリを設定します。 find it-automation-xxxx -type f xargs -II) sed -i -e ″s.%%%%ITA_DIRECTORY%%%%%:/(ITAインストール先ディレクトリ):g″ []
	yum-utilsインストール		·					
4	【CentOS7、RHEL7の場合】 yum-utilsをインストールする							以下のパッケージをインストールしてください。 yum-utils
	Apacheインストール		-			-		
5	Apacheをインストールする							以下のパッケージをインストールしてください。 httpd mod_ssl
6	Apacheの自動起動設定を行う							systemctl enable httpd
	PHPインストール		1	1 1				
7	PHPをインストールする							以下のパッケージをインストールしてください。
	※ITA v1.9.1以前の場合はPHP7.2、ITA v1.10.0の場合はPHP7.2またはPH'P7.4							php-devel libyaml-devel make sudo crontabs
8	PEARライブラリをインストールする	•						pear install / <mark>(インストール資材展開先</mark>) /ita_install_package/ext_files/pear/HTML_AJAX-0.5.8.tgz
9	HTML_AJAX-betaの設定を行う	•						In -s /usr/share/pear-data/HTML_AJAX/js /usr/share/pear/HTML/js
10	php-yamlをインストールする	•						以下のパッケージをインストールしてください。 php-yaml
11	PhpSpreadsheet(v1.8.0)をインストールする	•						以下のディレクトリを作成してください。 mkdir -p /usr/share/php/vendor PhpSpreadsheet(v1.8.0)パッケージを/usr/share/php/vendorディレクトリにインストールしてください。
13	pip3ライブラリをインストールする				ſ	•		以下のパッケージをインストールしてください。 python-hcl2
	PHPの設定							
14	【CentOS7、RHEL7の場合】 php.iniを設定する	•						cp -p /(<mark>インストール資材展開先</mark>)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ext_files_for_CentOS7.x/etc/php.ini /etc/
15	【CentOS8、CentOS Stream8、RHEL8の場合】 php.iniを設定する	•						cp -p / (インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ext_files_for_CentOS8.x/etc/php.ini /etc/
16	【CentOS8、CentOS Stream8、RHEL8の場合】 www.confを設定する							cp -p /(<mark>インストール資材展開先</mark>)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ext_files_for_CentOS8.x/etc_php-fpm.d/www.conf /etc/php-fpm.d/

	備考
	インストール資材の展開先は、どのディレクトリでも問題ありません。 オンラインの場合は以下のコマンドで取得してください。 curl -OL https://github.com/exastro-suite/it- automation/releases/download/vx.xx/exastro-it-automation-x.x.x.tar.gz ※v1.10.1以降は以下のコマンドです。 curl -OL https://github.com/exastro-suite/it- automation/releases/download/vx.xx_tag/exastro-it-automation-
	オンラインの場合は以下のコマンドでインストールしてください。 yum install -y yum-utils
	ナンラインの提合けい下のコマンドでインストールオス
	オンティンの場合は以下のコマンドでインストールする。 yum install -y httpd mod_ssl
d python3	オンラインの場合は以下のコマンドでリポジトリを有効にしてください。 【CentOS7、RHEL7の場合】 yum install -y http://rpms.remirepo.net/enterprise/remi-release-7.rpm
	yum-config-managerenable remi-php72
	【CentOS8、CentOS Stream8、RHEL8の場合】 リポジトリは追加無し
	オンラインの場合は以下のコマンドでインストールしてください。 yum install -yphp php-bcmath php-cli php-Idap php-mbstring php- mysqlnd php-pear php-pecl-zip php-process php-snmp php-xml zip telnet mailx unzip php-json php-gd python3 php-devel libyaml libyaml- devel make sudo crontabs
	オンラインの場合は以下のコマンドでインストールしてください。 pecl channel-update pecl.php.net echo ‴ pecl install YAML
	オンラインの場合は以下のコマンドでインストールしてください。 curl -sS https://getcomposer.org/installer phpinstall-dir=/usr/bin
	/usr/bin/composer.phar require "phpoffice/phpspreadsheet":"1.18.0"
	mv vendor /usr/share/php/
	オンラインの場合は以下のコマンドでインストールしてください。 pip3 install python-hcl2

			ii		目的	1			
No.	目的	并通	メニュー作成	ホストグループ Ancible	Cobbler	Terraform	Terraform-CLI	CI/CD for IaC	設定
	sudoersファイル変更		1 1			1 1	-		
17	sudo設定ファイル作成							L b	etc/sudoers.d/(任意のファイル名) と記のディレクトリに、下記の内容を記載したファイルを作成してください。
								a	pache ALL=(ALL) NOPASSWD:ALL
18	sudo設定ファイルの権限変更	•						11 c	f成したsudo設定ファイルの権限を440にしてください。 hmod 440 /etc/sudoers.d/(任意のファイル名)
19	sudoersファイル変更	•						vi s	i /etc/sudoers udoersファイルを確認し、以下の記載があればコメントアウトしてください。(※既にコメントアウトされていれば、この作業は不要です。)
									Jefaults requiretty
20	IIAインストール インストール先ディレクトリ作成							n	nkdir -p / (ITAインストール先ディレクトリ)
21	ITA資材配置	•						ci	p -rp / (インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-contents/ita-root / (ITAインストール先ディレクトリ)/.
22	ITA設定ファイル配置	•						C	p -rp /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-confs /(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/confs
23	セッション用ディレクトリ作成	•						m	nkdir -m 777 / (ITAインストール先ディレクトリ)/ita_sessions
24	data_relay_storageディレクトリ作成	•			+	+		m	nkdir / (ITAインストール先ディレクトリ) / data_relay_storage
25	ITAで使用するディレクトリ作成	•						/	、 (インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/install_scripts/list/create_dir_list.txtのファイルに記載しているパスに対して、先頭に/(ITAイ 、ール先ディレクトリ)をつけてー行ずつディレクトリを作成してください。
								m	nkdir -p / (ITAインストール先ディレクトリ) (ファイルに記載しているパス)
26	権限を変更する(755)	•						/ L	'(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/install_scripts/list/755_list.txtのファイルに記載しているパスに対して、先頭に/(インストール - クトリ名)をつけて一行ずつ権限を変更してください。
27	権限を変更する(777)							c	hmod 755 / (ITAインストール先ディレクトリ) (ファイルに記載しているパス)
21								Ĺ c	・クトリ名)をつけて一行ずつ権限を変更してください。 hmod 777 /(ITAインストール先ディレクトリ)(ファイルに記載しているパス)
28	ita_baseのリリースファイルを配置する	•					_	c	p -p /(<mark>インストール資材展開先</mark>)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-releasefiles/ita_base /(ITA <mark>インストール先ディレクトリ</mark>)/ita-root/libs/release
29	createparamのリリースファイルを配置する		•					C r(p -p /(<mark>インストール資材展開先</mark>)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-releasefiles/ita_createparam /(ITAインストール先ディレクトリ)/ita- oot/libs/release/.
30	hostgroupのリリースファイルを配置する			•				C	p -p /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-releasefiles/ita_hostgroup /(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/libs/re
31	ansible_driverのリリースノアイルを配直する			•				c rr	p -p / インストール資材展開先) / it-automation-x.x.x / ita_install_package/ITA / ita-releasefiles / ita_ansible-driver / (ITAインストール先ティレクトリ) / ita- oot/libs / release /
32	cobbler_driverのリリースファイルを配置する				•			c rr	p -p /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-releasefiles/ita_cobbler-driver /(ITAインストール先ディレクトリ)/ita- oot/libs/release/.
33	terraform_driverのリリースファイルを配置する					•		c rr	p -p /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-releasefiles/ita_terraform-driver /(ITAインストール先ディレクトリ)/ita- oot/libs/release/.
34	terraformoli_driverのリリースファイルを配置する						•	c) r(p -p /(<mark>インストール資材展開先</mark>)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-releasefiles/ita_terraformcli-driver /(ITAインストール先ディレクトリ)/ita- oot/libs/release/.
35	cicd_for_iacのリリースファイルを配置する						•	• ci	p -p /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-releasefiles/ita_cicd / (ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/libs/release,
36	MariaDB接続情報設定	•						(] rr	D以下の文字列をbase64エンコード、rot13暗号を行った文字列を作成してください。 nysql:dbname=(ITAのDB名);host=(DBMSサーバのIPアドレス)
								2	②作成した文字列を以下のファイルに書き込んでください。※記載済みの値は削除してください。 (ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/confs/commonconfs/db_connection_string.txt
37	MariaDBのユーザ情報設定	•		+	+		+	0	DMariaDBのユーザ名をbase64エンコード、rot13暗号を行った文字列を作成ください。
								2	②作成した文字列を以下のファイルに書き込んでください。※記載済みの値は削除ください。 (ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/confs/commonconfs/db_username.txt
38	MariaDBのパスワード情報設定	•						0	DMariaDBのパスワードをbase64エンコード、rot13暗号を行った文字列を作成してださい。
								2	②作成した文字列を以下のファイルに書き込んでください。※記載済みの値は削除してください。 (ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/confs/commonconfs/db_password.txt
						• 1			

	備考
	作成コマンド例: cat << EOS > /etc/sudoers.d/it-automation daemon ALL=(ALL) NOPASSWD:ALL apache ALL=(ALL) NOPASSWD:ALL EOS
	※ITAインストール先ディレクトリの親ディレクトリ全てに「その他のユー ザ」の実行権限を与えてください。
ITAインス	
トール先ディ	
トール先ディ	
lease/.	
bs/release/.	
a-	
ease/.	
	例:
	ITAのDB名が「ITA_DB」、DBMSサーバのIPアドレスが1.1.1.1の場合、以下 のコマンドでbase64エンコード、rot13暗号を行った文字列を取得できます。 echo -ne ^m wsql:dbname=ITA_DB;host=1.1.1.1 ^m base64 tr '[A-Za-z]' '[N-ZA-Mn-za-m]'
	例: MariaDBのユーザ名が「ITA_USER」の場合、以下のコマンドでbase64エン コード、rot13暗号を行った文字列を取得できます。 echo -ne "ITA_USER" base64 tr '[A-Za-z]' '[N-ZA-Mn-za-m]'
	例: MariaDBのパスワードが「ITA_PASSWD」の場合、以下のコマンドでbase64 エンコード、rot13暗号を行った文字列を取得できます。 echo -ne "ITA_PASSWD" base64 tr '[A-Za-z]' '[N-ZA-Mn-za-m]'

			目的					
No.		共通	メーユー作成 ホストグループ	Ansible	Cobbler	Terraform Terraform-CLI	CI/CD for IaC	設定
	_共有ディレクトリ設定	1 1					1 1	
39	共有ティレクトリを設定する							以下の様に外部ストレージの共有ティレクトリとの共有設定を行ってください。
								Web/APサーバの共有ディレクトリ 外部ストレージの共有ディレクトリ
		•						/(ITAインストール先ディレクトリ)/data_relay_storage //(任意の共有用ディレクトリ)/data_relay_storage
		•						/(ITAインストール先ディレクトリ)/ita_sessions /(任意の共有用ディレクトリ)/ita_sessions
		•						/(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/temp /(任意の共有用ディレクトリ)/ita-root/temp
		•						/(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/uploadfiles //(任意の共有用ディレクトリ)/ita-root/uploadfiles
		•						/(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/webroot/uploadfiles /(任意の共有用ディレクトリ)/ita-root/webroot/uploadfiles
		•						/(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/webroot/menus/sheets /(任意の共有用ディレクトリ)/ita-root/webroot/menus/sheets
		•	-		-	-		/(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/webroot/menus/users /(任意の共有用ディレクトリ)/ita-root/webroot/menus/users
		•	-		-	-		/(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/webconfs/sheets /(任意の共有用ディレクトリ)/ita-root/webconfs/sheets
			-			-		/(ITAインストール先ディレクトリ)/ita-root/webconfs/users //(任意の共有用ディレクトリ)/ita-root/webconfs/users
		-	_			_	ľ	
	 Apacheの設定							
40	/etc/hostsの設定						1	vi /etc/hosts
41	サーパ証明書と秘密鍵を作成する ※自己証明書を作成する手順を示しますが、公的機関で発行された証明書を使用したり、 httplこして証明書なしにしても構いません。	•						以下を追記してください。(連携ドライバサーバの記載については、使用するサーバのもののみを追記してください) 127.0.0.1 (Web・APサーバのホスト名) exastro-it-automation (AnsibleサーバのIPアドレス) (Ansibleサーバのホスト名) (AnsibleTowerサーバのアドレス) (Ansibleサーバのホスト名) (CobblerサーバのIPアドレス) (Cobblerサーバのホスト名) (CobblerサーバのIPアドレス) (Cobblerサーバのホスト名) (CobblerサーバのIPアドレス) (Cobblerサーバのホスト名).exr cd /tmp openssl genrsa 2048 > (Web・APサーバのホスト名).key > (Web・APサーバのホスト名).csr ~~~~~~対話式~~~~~ Country Name (2 letter code) [XX]:(ブランクでOK) State or Province Name (full name) []:(ブランクでOK) Locality Name (eg. company) [Default Company Ltd]:(ブランクでOK) Organization Name (eg. gentry) [Default City]:(ブランクでOK) Common Name (eg. gentry) [Default City]:(ブランクでOK) Common Name (eg. gentry) [Default Company Ltd]:(ブランクでOK) Common Name (eg. gentry) [Default Company Ltd]:(ブランクでOK) Common Name (eg. gatory) []:(Web・APサーバのホスト名) Email Address []:(ブランクでOK) A challenge password []:(ブランクでOK) A challenge password []:(ブランクでOK) A noptional company name []:(ブランクでOK) ~~~~~ 対話式~~~~~ openssl x509 -days 3650 -req -signkey (Web・APサーバのホスト名).key < (Web・APサーバのホスト名).csr > (Web・APサーバのホスト名).crt mr -f (Web・APサーバのホスト名).key < to / point/ls/certs/
								mv (Web・AF ソーハッハヘト社).crt / etc/pki/tis/ certs/
42	【CentOS7、RHEL7の場合】 Apacheのconfファイル配置							cp -p /(<mark>インストール資材展開先</mark>)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ext_files_for_CentOS7.x/etc_httpd_conf.d/vhosts_exastro-it-automation.conf /etc/httpd/conf.d/
43	【CentOS8、CentOS Stream8、RHEL8の場合】 Apacheのconfファイル配置							cp -p /(インストール資材展開先)/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ext_files_for_CentOS8.x/etc_httpd_conf.d/vhosts_exastro-it-automation.conf /etc/httpd/conf.d/
44	Apacheのconfファイル修正							vi /etc/httpd/conf.d/vhosts_exastro-it-automation.conf ファイル内の以下の3箇所を、exastro-it-automationを(Web・APサーバのホスト名)に書き換えてください。 ServerName (Web・APサーバのホスト名) ~ SSLCertificateFile /etc/pki/tls/certs/(Web・APサーバのホスト名).crt SSLCertificateKeyFile /etc/pki/tls/certs/(Web・APサーバのホスト名).key
45	Apacheの再起動	•						systemctl restart httpd

備考
※サーバ証明書に中間証明書が付属している場合は、サーバ証明書に中 間証明書を連結してファイルを作成してください。
作成コマンド例 cat [サーバ証明書ファイル] [中間証明書ファイル] > [連結済サーバ証明 書ファイル]

				目白	勺		
No.	目的	共通メニュー作品	<u>ィーユー IFIX</u> ホストグループ	Ansible	Cobbler Terraform	Terraform-CLI	設定
	正常性確認						
46	Web起動確認	•					<u>http://(Web/APサーバのIPアドレス)</u>
47	Ansibleのインターフェース情報の更新			•			[Ansible共通]-[インターフェース情報]メニューの「ホスト」に (Ansibleサーバのホスト名) を入力してください。
48	AnsibleTowerのインターフェース情報の更新 <mark>※Ansible Towerを使用する場合に入力してください。</mark>			•			[Ansible共通]-[インターフェース情報]メニューの「AnsibleTowerインターフェース」に (AnsibleTowerサーバのホスト名) (AnsibleTowerサーバ側で作成した認証トークン) を入力してください。
49	Cobberサーバで作成したプロファイルが読み取れているかの確認				•		[Cobbler]-[プロファイルリスト]メニューの「一覧」にCobblerサーバで作成したプロファイルの名前があることを確認してください。
50	CobberサーバでOSをインストールするサーバの情報を入力する				•		[基本コンソール]-[機器一覧]メニューの「登録」でインストールするサーバーの情報を入力する。 ※入力する内容は下記を参照してください。 https://exastro-suite.github.io/it-automation-docs/asset/Documents_ja/Exastro-ITA_システム構成/環境構築ガイド_Cobbler-driver編.pdf •Cobbler-driver 利用手順マニュアル Cobbler-driver(11ページ)
51	Terraformのインターフェース情報の更新				•	'	[Terraform]-[インターフェース情報]メニューの「Hostname」に(Terraform Enterpriseサーバのホスト名)、 「User Token」に(Terraform Enterpriseサーバ側で発行したユーザトークン)を入力してください。
	HTTPSでのアクセス確認	<u> </u>		<u> </u>	1		
52	Web・Apサーバのホスト名をDNSサーバまたは端末のhostsを編集する						Web・APサーバホスト名をご使用の環境のDNSサーバまたは操作端末のhostsに登録してください。
53	端末に証明書をインポートする	•					端末への証明書インポートの方法は下記を参照してください。 https://exastro-suite.github.io/it-automation-docs/asset/Learn_ja/ITA-online-install_ja.pdf 4.5 動作確認(5/6)
54	HTTPSでの接続確認	•					<u>https://(Web・APサーバのホスト名)</u>
55	HTTPまたはHTTPSのアクセスを制限する						HTTPまたはHTTPSのアクセス制限の方法は下記を参照してください。 https://exastro-suite.github.io/it-automation-docs/asset/Learn.ja/ITA-online-install.ja.pdf 4.7 参考

備考
ログインID:administrator 初期パスワード:password ※HTTPSでのアクセス方法は「HTTPSでのアクセス確認」以降を参照して ください。
※ホスト名の代わりに、サーバーのIPアドレスでアクセスすることも可能で す。